

【件名】

今後のシティプロモーションの取組について

【要旨】

中野区のシティプロモーションは、令和2年7月に区内事業者・団体、区民のつながりや絆づくりに焦点を当て、情報発信や取組の支援を行うことを基本とする事業に再構築し、取組を進めてきたところである。

中野区では、本年7月に中野サンプラザが閉館となり、中野駅周辺の再整備が進む中、「NAKANOSANPLAZAシティ」の竣工に向けて、中野の魅力を発信し、にぎわいを創出していくことが必須である。

よって、令和2年7月に再構築した中野区シティプロモーションの考え方を継承する一方、以下の背景やこれまでの取組を踏まえ、今後のシティプロモーションの展開を検討していく。

1 背景

- ・中野駅周辺再整備の進展
- ・イベントの増加、来街者の回復・増加
- ・「中野区実施計画」の検討
- ・「中野区都市観光施策方針」、「中野区文化芸術振興基本方針」及び「中野区多文化共生推進基本方針」の策定、「中野区産業振興方針」の検討
- ・一般社団法人中野区観光協会と中野区の連携協定締結
- ・新区役所1階にイベントスペース、多目的スペース、西側広場など文化・芸術を中心として区民・団体等が活動できる空間を整備

2 令和2年7月以降の取組（成果）

(1) ナカノミライプロジェクトワークショップ

区内に本社・事業所を有する事業者と中野区が連携して、中野を元気にする企画とその発信を実施している。令和4年度は、中野駅周辺のまちの移り変わりを記録する「中野のオーラルヒストリー」（口述歴史）動画を制作。年々参加事業者数が増え、令和5年度は14事業者が参加。参加事業者や参加者からは「企画が充実しており、事業者のアピールにもつながっている。今後は、映像などさらに情報発信力を高めていきたい」との声が多い。

(2) 身近な文化・芸術の展開

① シティプロモーション事業助成の実施

毎年度、文化・芸術、子育て・教育に関する事業を対象に、3～4事業について助成を行ってきた。アウトリーチする事業が多く、参加者の満足度は非常に高い。

② 中野ミューラルプロジェクトの実施

令和3年度に民間との協働で中野駅北口駅前広場に壁画を制作し、また企業から1,000万円の寄附を得て、令和4～5年度に合計で5か所の壁画を制作（2か所は制作中）。壁の所有者や地域住民（子どもたちを含む）が参加したワークショップによりデザイン等を決定。壁画制作の希望は20件を超えている。「もっと数を増やせないか（数が少ない）」という要望が最も多い。

(3) 補助的ツールによる情報発信等（中野大好きナカノさん）

中野区シティプロモーションキャラクター「中野大好きナカノさん」のSNSによる中野の魅力発信のほか、区民参加型イベントを実施。イメージ利用（含む商品）は累計140件を超えており、継続的に問い合わせがあるなど認知度が向上している。人形の貸し出しも実施し、本年度も50件を超える見込みである。

(4) その他

本年10月に、中野区ホームページに都市観光のサブサイト（中野区公式観光サイトまるっと中野）を作成。区内在住・在勤・在学のレポーター（ナカノ観光レポーター）による発信を行っている。また、区内の事業者との連携により、ふるさと納税の返礼品開発とその情報発信を行っている。

3 今後の展開にあたっての重点的視点

- ・区民・事業者・団体との協働・協創のさらなる推進
- ・「NAKANOサンプラザシティ」が整備されるまでの中野駅周辺の賑わい創出
- ・中野駅周辺以外の地域や資源のアピール
- ・身近に触れられる文化・芸術の推進（増やす）
- ・体験
- ・ダイバーシティ
- ・アニメ・コンテンツ
- ・メタバース、XR

4 今後の展開（案）

(1) ワークショップ（ナカノミライプロジェクト）

区内に本社・事業所を有する事業者と連携して、中野を元気にする企画とその発信を継続して実施。情報発信力を強化するため、ワークショップ内の提案等を踏まえ、中野区をプロモーションするショートフィルムを制作するほか、公募によるフィルムコンテストを実施する。さらに、中野のまちへの期待を向上させる「ご当地本」の発行を企画する。

(2) 中野区シティプロモーション事業助成

文化・芸術、子育て・教育に関する事業を対象としたシティプロモーション事業助成を実施（継続）する一方、別途検討している（仮称）子ども文化芸術振興基金による事業助成への転換を検討していく。

(3) 区民に身近な文化・芸術の推進

① 中野ミューラルプロジェクトの自走化

同プロジェクトは、今後、事業者主体での壁画制作を促していく。また、身近に触れられる壁画を広く捉え、工事中の壁などへのアート創出を区として後方支援していく。

② プロジェクションマッピングの実施

ア 中野サンプラザ外壁へのプロジェクションマッピング実施（令和5年度）

「中野サンプラザ」のレガシーとして、また、サンプラザの最後を飾る機会として「身近な文化・芸術を育む中野のまち」を発信するとともに、内外から注目を集める地域イベントとしての経済効果を期待し、実施する。

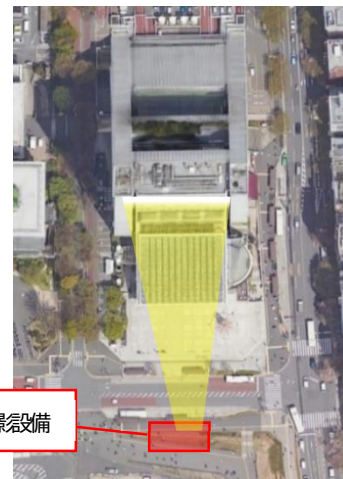
(ア) 投影日時 i 令和6年3月22日(金) 19時45分～20時45分（4回程度）

ii 3月23日(土) 18時45分～20時45分（6～7回程度）

iii 3月24日(日) 18時45分～20時45分（6～7回程度）

- (イ) 場所 中野駅北口東西連絡路法面（のりめん）より対岸の中野サンプラザ壁面に投影
- (ウ) 想定来場人員 10万人程度（3日間）
- (エ) 実施内容 1回10分以内の映像を繰り返し上映（各日で映像内容を変更することを検討）
- (オ) 安全対策 関係機関と調整中。調整を踏まえ、職員及び業務委託にて警備資格者を配置。

【投影イメージ】



イ 今後のプロジェクションマッピング（令和6年度以降）

アニメや区政課題などのテーマ性を有したコンテンツとするとともに、イベント等と連動した実施を検討していく（特定財源の確保を前提）。

(4) 補助的ツールによる情報発信等

中野区シティプロモーションキャラクター「中野大好きナカノさん」のSNSによる発信を一層行うとともに、区民参加型イベント企画・実施する。また、イメージ利用（含む商品）をさらに促していく（声や動きを付けるなど二次創作も）。

(5) その他

- ・ナカノ観光レポーターによる情報発信を強化する。また、一般社団法人中野区観光協会やインフルエンサー、発信力のある事業者（一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団、株式会社MATCHAやLINE ヤフー株式会社）と連携した情報発信を行う。
- ・フィルムコミッションや中野区認定観光資源を見直す。
- ・「コト消費」やコンテンツを中心として、区内事業者のアピールにつながる、ふるさと納税の返礼品開発を進める。
- ・新区役所1階のイベントスペースなどにおける文化・芸術を中心としたイベントなどの企画・調整を進めるとともに、四季の森公園などの中野駅周辺のイベントと連動した企画の調整や後方支援を行う。
- ・中野駅周辺エリアマネジメント活動との連動を図る。